

# 神戸大学 医学生イベント

## WITH 東日本大震災医療支援報告

『健康で文化的な最低限度の生活』

よく聞くこの言葉は憲法 25 条に規定された生存権の文言です。

生きていく上で最低限の生活ができれば良いというものではありません。

人間らしく「健康で文化的な」生活が我々には保障されているのです。

東日本大震災の医療活動報告とあわせて、「生存権とは何か」を考えてみませんか？

憲法～生存権～いのちの大切さとは？

日時

2011年 6月 23日 (木) 17:30～

参加費無料、夕食も用意しています！

ところ

兵庫民医連 大倉山医学生センター

(大倉山キャンパスのすぐ近くです)

問い合わせ

申し込み 締め切り 期限

6月21日(火)まで 兵庫民医連医学生担当まで



TEL 078-303-7351

FAX 078-303-7353



兵庫民医連 医学生のページ

検索

Mail : [igakusei@hyogo-min.com](mailto:igakusei@hyogo-min.com)

\*詳しくはWEBで！！

### ☆講師紹介☆

横尾貴史 (よこおたかし)

神戸協同病院外科専攻医



2008年3月、神戸大学医学科卒業

2008年4月、尼崎医療生協病院での初期研修開始

2010年4月、神戸協同病院での外科後期研修開始

2011年3月、塩釜市の長町病院、避難所等にて震災医療支援活動に従事

### Time Schedule

18:00～ 医学生プレゼン① (海外の憲法)

18:30～ 医学生プレゼン② (生存権 25 条)

19:00～ 討論・質疑応答

19:30～ 東日本大震災医療支援報告

20:30～ 質疑応答

21:00～ 終了～交流会

# 憲法～生存権～いのちの大切さとは？



北九州市小倉北区の独り暮らしの男性（52）が自宅で亡くなり、死後約1カ月たったとみられる状態で10日に見つかった。

男性は昨年末から一時、生活保護を受けていたが、4月に「受給廃止」となっていた。市によると、福祉事務所の勧めで男性が「働きます」と受給の辞退届を出した。だが、男性が残していた日記には、そうした対応への不満がつつられ、6月上旬の日付で「おにぎり食べたい」と空腹や窮状を訴える言葉も残されていたという。

男性が孤独死した自宅。玄関や壁、屋根の一部は破れ、電気、ガス、水道は来ていなかった。男性は肝臓を害し、治療のために病院に通っていた。市によると、昨年12月7日、福祉事務所に「病気で働けない」と生活保護を申請。同月26日から生活保護を受けることになった。だが、今春、事務所が病気の調査をしたうえで男性と面談し、「そろそろ働いてはどうか」などと勧めた。これに対し男性は「では、働きます」と応じ、生活保護の辞退届を提出。この結果、受給は4月10日付で打ち切られた。この対応について男性は日記に「働けないのに働けと言われた」などと記していたという。その後も男性は働いていない様子だった。1カ月ほど前に男性に会った周辺の住民によると、男性はやせ細って、「肝硬変になり、内臓にも潰瘍（かいよう）が見つかってつらい」と話していたという。 2007年7月26日 毎日新聞



東日本大震災で被害が大きかった宮城、福島両県で、生活保護受給中の被災者に対し、避難所生活で住居費がかからないことや、義援金を受け取ったことを理由にした保護の廃止や停止が相次ぎ、少なくとも7例あることが両県の弁護士会や生活支援団体への取材で4日、分かった。

東日本大震災を受け、厚生労働省は生活保護に関しては阪神大震災時の措置にならない、義援金などの一時金は収入とみなさないことや、被災者の個別の事情に配慮するよう各市町村に通知。厚労省保護課は「個々の事例を早急に調査したい。打ち切る場合も被災者への丁寧な説明が必要だ」としている。 2011年6月4日 共同通信



大倉山医学生センターではパソコン、インターネット環境、コピー機、医学書等の設備などを設置しています。

毎週水曜日に「ランチタイムミーティング」。

毎月定期的に「ディナータイムミーティング」を開催し、学生同士が医療情勢について語り合ったり、学んだりしています。

現役医師を招いて、学習会も開催しています「医学生センター」に、是非一度足を運んでみて下さい！！

神戸市兵庫区荒田長 2-1 楠六バレスビル 304

090-2049-6197

tyn848469qdp@yahoo.co.jp

担当 神戸協同病院 医局 吉岡